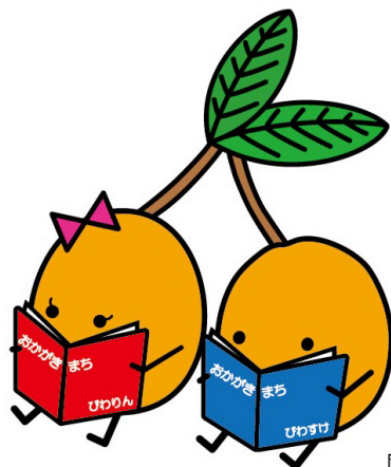


家庭での読書（家読）のすすめ

～ 家庭でのコミュニケーションを ～

小学生期編



岡垣町イメージキャラクター

♡ びわりん & びわすけ ☆

うちどく
家読とは・・・

家庭のみんなで、読書活動に取り組むことを「家読（うちどく）」と言います。家庭のみんなで図書館を利用したり、好きな本について話し合ったり、読み聞かせをしたりすることで、家庭でのコミュニケーションが増え、絆も深まります。

テレビを消して、「家読（うちどく）」に取り組んでみませんか。

岡垣町教育委員会

～ 家読（うちどく）って、どうするの？ ～

「家読（うちどく）」は、家庭での読書を通して、コミュニケーションを図ろうという取り組みです。特に、決まったルールやスタイルはありませんが、次のような取り組みの例を参考にして、各家庭の生活に合った方法を見つけてみませんか。

【取り組みの例】

- 毎週1回程度「家庭読書の日」を決めて、みんなで読書をする。（1回10分程度の時間でも、読書習慣のきっかけづくりとして実施していくことも有効ですよ。）
- 大人が子どもに、子どもが大人に読み聞かせをする。
- 家庭のみんなで一緒に図書館等に行き、読みたい本を選ぶ。
- 折り紙や料理の本等を一緒に読み、子どもと実際につくる。
- 大人が、子どもの頃に読んで覚えている絵本や本を、みんなでもう一度読む。
- 家読ノートをつくり、家庭の読書記録を残していく。 等

《子どもの発達段階に応じた読書を》

近年、子どもの読書の重要性（学力との関係や自尊心・自立心の向上等）についての認識が高まっています。

しかし、小学校・中学校・高校と学年が進むにつれて読書量が減り、高校生では1ヶ月間に1冊も本を読まない割合（平成26年度全国学校図書館協議会調査）が50%近くになっているという報告もあり、読書習慣の定着が大きな課題となっています。

子どもの頃に身につけた読書習慣は、生涯にわたり子どもの健やかな成長の一助となります。そのため、子ども達に確かな読書習慣を定着させるためにも、家庭での読書活動はとても大切です。

【小学生期】

小学生期は、生活環境等に大きな広がりを見せる時期です。

低学年では楽しんで本を読み、中学年では読書の幅を拡げ、自ら進んで読書をするようになり、高学年では読書を通して考えを広げたり深めたりするようになっていきます。

この時期に読書の楽しさに触れ、読書の習慣を身につけさせることは、その後の心身の成長・発達の上できわめて重要です。

これらのことから、学校においては、子どもの自主性を尊重しつつ、計画的な読書活動に取り組んでいます。家庭でも読み聞かせやみんなで読書をする時間等をつくることで、子どもの読書意欲を高めるような工夫をすることが大切です。



～ 家読おすすめの本 ～

(小学校低学年向けの本)

小学生になったからといって、急に文字の多い本を読ませよう等とは考えないでください。低学年のうちには、「耳からの読書」もとても大切です。絵本の読み聞かせも大変有効であると言われています。読み聞かせばかりしていると、一人で読む習慣や読解力が身につかないと思うのは、大人の誤解だとも言われています。

また、少し長い物語でも「耳からの読書」を通すことが、今後にとっても良い経験となり、子どもが本好きになる最短コースですよ。

【おすすめの本】

- | | |
|----------------|----------------|
| ○ おしおのぼうけん(絵本) | ○ ふたりはともだち(絵本) |
| ○ キャベツくん(絵本) | ○ おおきな おおきなおいも |
| ○ エルマーのぼうけん | ○ ひとまね こざる |

(小学校中学年向けの本)

小学校中学年から高学年になる頃が、読書好きになるかの別れ道だとよく言われます。個人差はありますが、特に中学年の時に、よい本とめぐり合わせることがとても大切です。ファンタジーやシリーズになっている本も、子どもの感性や読書量が伸びると言われています。



【おすすめの本】

- | | |
|------------------------|----------------|
| ○ せかいいち うつくしい ぼくの村(絵本) | |
| ○ もしかしたら名探偵 | ○ 魔女の宅急便 |
| ○ チョコレート選考 | ○ ドリトル先生アフリカゆき |

(小学校高学年向けの本)

小学校高学年になると、伝記や歴史・自然等と幅広いジャンルの本に興味を持ち始めます。この傾向は、中学生・高校生期にもつながります。読書の世界が大きく広がっていく時期なので、いろいろなジャンルの本を読むように、家庭でも進めてみましょう。

【おすすめの本】

- | | |
|-------------------|--------------|
| ○ だれも知らない小さな国 | ○ お米は生きている |
| ○ 精霊の守り人 | ○ ローワンと魔法の地図 |
| ○ 世界がもし100人の村だったら | ○ 森へ |

小学生がよく読んでいる本やおすすめの本を、インターネットやサンリーアイ図書館からの情報を基に記述しています。

ただし、例えば中学年でも、中学年向けの本だけでなく低学年や高学年向けの本を読むことが、読書の世界を広げますよ。

個人差がありますので、お子さんと話し合いながら、本を選ぶ時の参考になればと思います。